

# 危険薬剤の安全な取り扱いについて

## カリウム製剤管理のピットフォール（落とし穴）

### 講師

北里大学病院 医療の質・安全推進室専従医療安全管理者  
荒井有美 先生

### 日時

平成30年**10月27日**（土）13:00～17:00（受付開始12:15～）

### 会場

北農健保会館 大会議室 札幌市中央区北4条西7丁目1-4  
JR：札幌駅 徒歩5分 地下鉄：南北線さっぽろ駅 徒歩5分 東豊線さっぽろ駅 徒歩10分

### 対象

看護管理者・医療安全管理者・全ての看護職・薬剤師

### 参加費

北海道看護協会会員:無料 非会員:1,000円

定員  
60名

### 申込締切

10月16日（火）FAXにてお申込みください。

### タイムスケジュール

12:15～	受付
12:55～13:00	オリエンテーション
13:00～15:00	基調講義
15:00～15:10	休憩
15:10～16:10	ワークショップ
16:10～17:00	全体発表 講評

### 講師紹介

1990年北里大学薬学部卒業後、同大東病院薬剤部に勤務。97年同大看護学部にて社会人入学し、2001年同大病院にて看護師として入職。現在は、看護師と薬剤師のダブルライセンスを持つ専従医療安全管理者として、病院全般にわたるリスクマネジメントに従事している。



### 基調講義

#### 「カリウム製剤等ハイリスク薬剤の知識は万全ですか？」

カリウム製剤は投与量や投与方法を間違えると不整脈や心停止等重大な事象に繋がります。そのため医療機関における事故防止対策をはじめ製薬会社の製品開発努力、医療関係団体があらゆる注意喚起を行ってきました。しかし事故は依然としてなくなっており、患者の病態をアセスメントしカリウム製剤の必要性を十分に理解して取り扱うことが必要だと思われ

2017年は日本看護協会が日本病院薬剤師会と協働で「カリウム製剤の投与間違いの撲滅と死亡事故ゼロ」にむけて安全問題に取り組んでいます。その中では危険薬剤の管理はもちろん、実施者の知識が無ければ誤投与を防ぐのは難しいことが示唆さ

れており、患者の病態をアセスメントしカリウム製剤の必要性を十分に理解して取り扱うことが必要だと思われ

誰もが、「高濃度カリウム製剤を急速投与するなんてあり得ない」と思っていますが、実際には発生しているので、それぞれの事例に何かしらのピットフォール（落とし穴）があるのだと思います。

そこで今年度第2回目の医療安全交流会では、ハイリスク薬剤の管理やシステムの改善に携わっている講師を招き、にカリウム製剤の基礎知識、事故防止のための多職種協働、組織的な取り組みについて危険薬剤に関する事故事例を通し、マネジメントの実際について学びます。

### ワークショップ

「なぜカリウム製剤は危険なのか」「どういったシステムの改善・教育が必要なのか」を踏まえ事故防止のための事例検討で実際のマネジメントを学び合ひましょう。また他施設との情報交換も交え自施設の管理について振り返りましょう。

### 昨年の参加者の感想

昨年度の交流会で大好評だった荒井先生を、今年度もお招きすることができました。昨年度の参加者の感想を紹介いたします。

- ♪ 明日からの業務に活かせる事ばかりでした。ありがとうございました。
- ♪ エラー防止対策の具体的な説明がわかりやすく、薬剤への理解が深まりました。臨床を離れて長いのでとても新鮮で、楽しく学びました。

● 開催案内・参加申込書は、北海道看護協会HPの医療安全「支部における医療安全に関する事業の紹介」へ掲載しています。

● 問い合わせ先 Mail : r-ishii@sc-h.or.jp Tel : 011-513-0111（代表） 札幌中央病院看護部 石井令子